# 逆走対策技術カタログ
## ～物理的・視覚的対策～

【技術名】

ウェッジハンプ

1.基本事項（1／3）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 技術番号 | | No.1 | | |
| 技術名 | | ウェッジハンプ | | |
| 型式番号 | | — | | |
| 企業名 | | 大成ロテック株式会社 | | |
| 問合せ先 | 電話 | ［TEL］03-5925-9436 | | |
| | E-mail | https://www.taiseirotec.co.jp/contact/ | | |
| | 住所 | 〒160-6112　東京都新宿区西新宿8-17-1 | | |
| | 担当部署 | 営業本部　民間営業部 | | |
| 対策箇所数 | | 全10箇所<br>【R6.3.31時点】 | NEXCO<br>東日本 | — |
| | | | NEXCO<br>中日本 | 1箇所（日本平PA） |
| | | | NEXCO<br>西日本 | 1箇所（伊芸SA） |
| 特許関係 | | 意匠登録第1446913号 | | |
| 設置状況 | | 管理用道路<br> | | |

1.基本事項（２／３）

| | |
|---|---|
| 技術概要 | 舗装面にくさび型の非対称の段差（ウェッジハンプ）を設置し、走行時の衝撃により逆走車両に注意喚起を行う技術である。<br><br>・逆走車両に衝撃で注意喚起<br>・順走車両の走行には支障を与えない形状 |
| | 【走行イメージ】<br><br> <br><br>順行時はスムーズ（運転に支障なし）<br><br> <br><br>逆走時は振動と衝撃音で警告 |

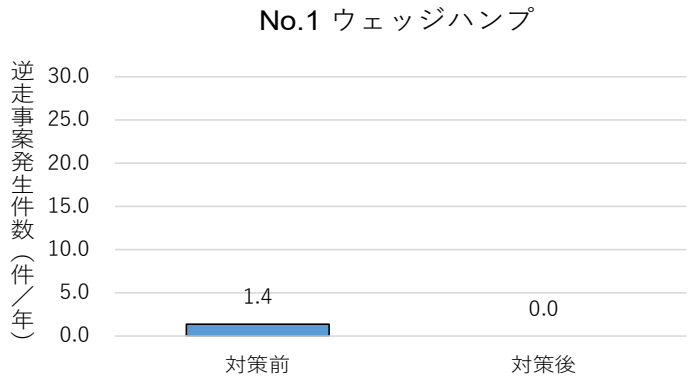
1.基本事項（３／３）

| | |
|---|---|
| 技術の強み・長所 | ・体感(衝撃)による注意喚起を行うため、見落とすことがない。<br>・段差部分に超高強度繊維補強コンクリートを使用しており，大型車が走行しても十分な耐久性がある。 |
| 技術の短所・留意点 | ・段差を有することから、除雪作業や積載物への影響が考えられるため、走行速度が低い位置の設置が望ましい。<br>・順行方向においても，ウェッジハンプの通過時，騒音が発生するので，住宅地域などの近隣などは設置場所に留意が必要である。 |
| 技術改善内容<br>（改良・改善記録） | ― |

2.逆走対策技術としての検証・評価（1／2）

| | |
|---|---|
| 検証箇所（代表例） | 沖縄自動車道　伊芸SA（下り） |
| （技術開発企業による調査結果） | |
| 技術の認識度 | 【対順走車】<br>・定点カメラによる観察の結果、順走車の四輪車のうち4%、二輪車のうち33%が当該技術上を通過せず、路肩を通過。ただし、通過後に事故や転倒は確認されず。順走車には大きな影響は無さそう。<br>・現地アンケートでは、当該技術の段差に気付いたと回答した者が1回目調査では70.9%、半年後の2回目調査では79.6%。 |
| 技術認識時の挙動確認 | 【対逆走車】<br>・定点カメラを設置するも、観察期間中に逆走事案が発生しなかったため、逆走車の技術認識時の挙動は不明。<br><br>【対順走車】<br>・定点カメラで観察した結果として、当該技術通過直前の急減速や停止は確認されず、当該技術通過後の危険な挙動も確認されず。<br>・現地アンケートの結果から、順走車の当該技術通過時の印象として、「気にならない」31.7%、「少し気になる」54.1%、「不快」10.4%、「危険」3.8%。8割以上が特に不快や危険とは感じず。<br>（ただし、二輪車に限ると、「不快」0%、「危険」33.3%）<br><br>※いずれも昼間の評価。 |

2.逆走対策技術としての検証・評価（2／2）

| 検証箇所（代表例） | 分合流部出入口部 |
|---|---|
| （試行設置期間における検証項目及びその評価） | |
| 逆走対策効果 |  <br>集計対象期間：2015年1月～2023年12月<br>箇所数：2箇所 |
| 費用関係 | 材料費　：　990,000円<br>設置費　：　860,000円　（現場条件により都度見積もり）<br>※設置費には実施使用権料3,000円/ｍ含む）<br>【積算条件】<br>・1箇所4.0ｍ<br>・直接工事費のみ（仮設工事費、現場管理費、一般管理費、交通規制・誘導員は含まず）<br>・平日2日間（昼間施工単価）<br>・通行止め規制かつウェッジハンプの新設工事の場合<br>・舗装表面から15㎝以内の埋設物は無いものとする |
| 維持管理関係 | ・設置する路面にわだちやひび割れ等がある場合，早期に損傷する恐れがあるので，舗装の打ち換え等の処置が必要となる。<br>・設置時は、ランプ通行止めが必要となる。 |
| 留意事項 | ・設置箇所は除雪作業が生じない箇所である必要がある。<br>・樹脂の硬化不良の原因となるので，寒冷期の施工は避けることが望ましい。 |

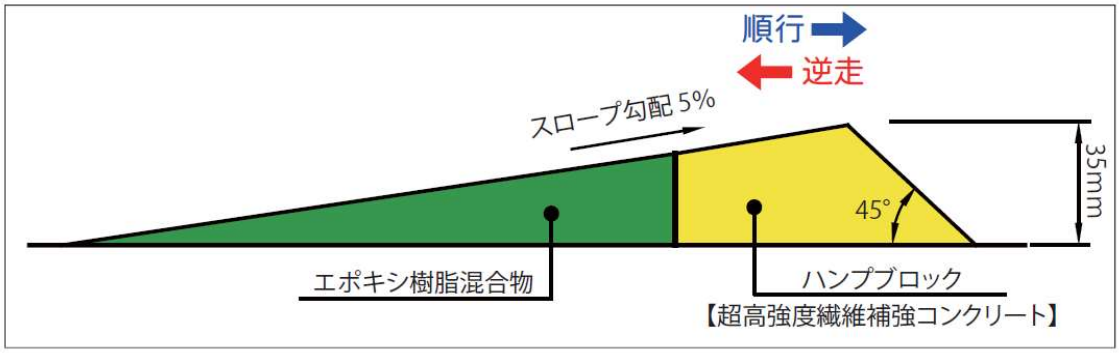
3.汎用性

適用事例①

PA併設スマートICへの進入路に設置　(常磐道　鳥の海スマートIC)

・スマートICでは、一旦停止が必要なため、順走車への速度抑制対策として設置

4.参考図面

図面番号①

別添資料①カタログ